



ほやほやだより

平成21年3月15日発行 第16号



2月3日 節分



2月3日 なが~い太巻き作り



3月3日 ひな祭り



3月3日 ひな祭り

特別養護老人ホーム

HOME TOWNコスモス

〒919 - 0324 福井市帆谷町1字外山33

社会福祉法人おおた福祉会

TEL 0776 - 38 - 1159

FAX 0776 - 38 - 2678

もくじ

行事紹介	2
ユニット紹介	3
介護相談員を定期訪問し続けて	4
新職員紹介	4
就任の挨拶	5
ユニットリーダー研修に参加して	5
デイサービス紹介	6

1月8日 どんど焼き

正月飾りや書初めなどを燃やし、1年の無病息災を祈りました。



1月9日 かき餅



昔は、よ～やったわ。と慣れた手つきで編まれたり、入居者の方にスタッフが教えてもらう姿もみられました。



2月3日 節分

太巻き寿司を作ったり、皆さんで童謡を歌って節分の日を過ごしました。



豆まきをして、病気にならず、長生きを願いました。



2月6日

つるして乾燥した“かき餅”を揚げて皆さんでいただきました。



3月3日 ひな祭り

ちらし寿司・お刺身・炊き合わせ・すまし汁・桜餅



手作りの和菓子

お茶会が開かれ、和菓子、お抹茶、桜茶が振舞われました。



クラブ活動

書道教室(月二回)

月二回の書道教室。季節に合わせて皆さん立派な字を書かれています。



生け花教室(月一回)

桃の花や菜の花で、ひな祭り用の華やかでかわいらしい作品が出来上がりました。



りんご

1月20日 書道教室



2月11日 おやつ作り



たこ焼き機でカステラと白玉あんこ作り。カステラは難しく焦がしてしまう一面も...。でもおいしくできました。

ひまわり

2月3日 節分
なが〜い太巻き寿司作り

長い太巻きに挑戦。口を大きくあけて丸かじりしました。



2月20日 田代様
ご主人と外食
今年の誕生日はご主人と思い出の場所、釜飯専門店「釜蔵」へ。昔よくご主人と食事に行かれたそうです。



あやめ



太巻き作りは、下ごしらえから入居者の方と一緒に行いました。



2月3日 節分

ユニットに登場した鬼に、思いっきり豆をぶつける方もいました。



2月15日 手作りラーメン

「ラーメンが食べたい!」というリクエスト!
味噌・醤油、2種類のラーメンを作りました。



3月3日 ひな壇前で



あじさい

1月25日 昼食外出
海鮮アトム

誕生日にお寿司が食べたいとの事で行ってきました。たくさんのお寿司を食べてきました。



2月26日
生け花教室



すいせん

介護相談員として定期訪問し続けて

福井市介護相談員 城 栄美子

HOME TOWN コスモスは、平成 18 年 3 月 27 日開設の福井市内において先端に行く全室個室のユニットケア事業所であります。

私は福井市介護相談員として開設時より定期訪問をさせて頂き、その役割は利用者及びご家族の介護サービスに関する不平不満や日常的な気付きの中から、事業所や行政との間に立ち、工夫や改善等の問題解決に向けた提案をすることです。

人は誰でも少しでも良い環境で過ごしたい、過ごさせたいと望むことは当然のことです。療養型、老健、特養、特定有料施設、認知症対応型グループホーム、通所リハ、デイサービス、認知症対応型デイサービスなど各事業所を訪問するに当たり、常に「自分の両親を入居させたいか、また自分が入りたいか」という事に視点を合わせてきました。「福祉は人、人により左右される」ということも定期訪問する中で実感できます。

利用者の方に食事、入浴、排泄は三大要素です。コスモスで暮らす大切なご家族を思い浮かべてください。

- 拘束につながる“手袋”や“ミトン”をしていますか。
- 毎日食べる食品は新鮮ですか。「おいしい」と言ってくれますか。
- 職員の笑顔、声かけはありますか。ポツンと片隅に置かされていませんか。
- 室内に自然の“光”と“風”が入りますか。

など等、気にも留めない当り前の事ですが、この当り前を維持するにも、職員の努力が必要です。私は訪問する度にいろいろな場面に遭遇します。下痢をしている利用者を親身に介護する姿、車椅子に載せて散歩をする姿、とろみ食を一口づつ食べさせている姿、ひょうきんな言葉で笑わせている姿、利用者の吐いた汚物を処理する姿など「業務だから」だけではできない介護の職です。ご家族の心の片隅に職員への少しの「ありがとう」をお持ち戴ければ事業所に対して、工夫や改善をお願いしてきた相談員としてはとても嬉しいものです。

「笑顔の創造」とは、HOME TOWN コスモスのモットーです。笑顔の中から相互の信頼関係が生まれます。笑顔は人を温かくし、笑いは元気、活力につながります。

最終訪問を終えた今、職員との共生、家族のように睦みながら暮らす利用者様のご健康とご多幸を祈念致します。



新職員紹介



デｲサービス 朝日利枝子

3月より異動になりました。分からないことばかりですが、笑顔を絶やさずこれからも頑張っていきます。よろしくお祈りします。



デｲサービス看護師 嶋田真紀

看護師のパートで勤めさせて頂くことになりました。介護の仕事は初めてですが一生懸命頑張りますのでよろしくお祈りします。



看護師 見沢三紀

1月からユニットの看護師としてお世話になっていきます。これから少しでも皆様のお役に立てれる様頑張りますのでよろしくお祈りします。

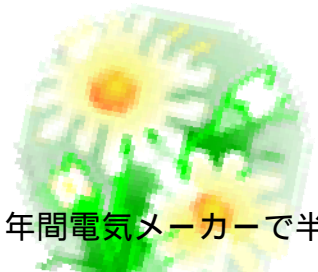


ゆずエイト 伊藤 優

3月よりお世話になっていきます。経験不足でたくさんご迷惑かけると思いますが、頑張っていきますのでよろしくお祈りします。

就任の挨拶

管理室室長 齊藤 信英



1 月に管理室長に就任した齋藤信英です。私は、26年間電気メーカーで半導体というものの生産管理や中部地区の営業を担当していました。その後、生涯やれる仕事として「整体」の技術を習得し、開業しました。「特別養護老人ホーム HOME TOWN コスモス」で2回/週 出張整体させて頂くようになり、その縁でこちらにお世話になりました。現在は、介護報酬、それに一般企業でいう総務、経理関係のお仕事をさせて頂いております。

お客様に「太陽のような温かさを提供したい」という想いで、整体を始めました。整体の対価として頂く料金の他に、お客様から頂く「笑顔と感謝」が最高のご褒美だと思います。私は、介護職の経験はありませんが、10年間入退院を繰り返した母親の世話をした経験があります。その時介護の仕事は、心身ともに大変な仕事である、と感じました。当施設の理念に「笑顔の創造」がありますが、私も職員の方が、利用者の方や利用者のご家族の方々に「笑顔」を提供し、「笑顔と感謝」を頂けるように、少しでも応援出来るように致します。今後とも、「特別養護老人ホーム施設 HOME TOWNコスモス」ともども宜しく願いいたします。



研修に参加して

認知症介護研究・研修東京センター

特別養護老人ホームけま喜楽苑(兵庫)でのユニットリーダー研修

平成21年1月7日～9日・1月26～30日

施設と地域のつながりとは

吉澤 恵介(あやめ)



けま喜楽苑の全景

「どこにあるのかわからなかった」住宅地のど真ん中にあるその施設の第一印象であった。

それほどに、けま喜楽苑は立地から地域に溶け込んでいた。そして、その中身も地域とのふれあいに溢れていた。けま喜楽苑は、兵庫県尼崎市にあり、3階建ての造りで、1階がデイサービスとショートステイが隣接し、2、3階が入居されている方のフロアになる。建物の造りなどは、現在ある施設と比べると建てられてから年月が経っているので、やや古さを感じる部分はあるがその中身はまるで違う。長い年月による経験と施設理念が浸透している施設だと感じた。

責任者から聞いた大きな特徴として、施設の入り口は常に開放しているとのこと。一見普通かもしれないが唯一異なる点、それは入居されている方に関しても開放しているということ。つまり認知症の方も、自由に外に出られるということである。普通なら考えられないかもしれないが、「その地域に住んでいるのだから、外に出られるというのは当たり前」とのこと。もちろん、開設当初は地域の反対は凄く、何度も施設や地域住民ともトラブルにつながり、入居者を捜す為に警察に捜索願が出されたりとその道のりは険しかった。しかし、現在では『さんがあそこにいたよ』など連絡が来るようになったとのこと。もちろんそこに至るまでは様々な取り組みをしてきたとの事だが、施設理念に対する地域の理解がなければできないことである。

その施設理念が『つなぐ』である。私達コスモスでも地域と施設のつながりをこれからも大事にしていきたい。

デイサービス

雪の少ない冬を終え、桜の咲く季節がやってきました。

今回も、デイご利用者様の笑顔をお届けします！！



網谷幾代様の作品



3月9日・10日

買い物外出



今年も女性の利用者の方とバレンタインのチョコレート作り。

かわいく、そしておいしく出来上がりました！！

2月10日 St. Valentine's Day
バレンタインデー



アルプラザ鯖江へ買い物に行きました。思い思いに買い物され、皆さん満足されていました。



奉仕活動を通じた笑顔の繋がり

文殊地区日赤奉仕団 寺尾 文子様
(前 分団長)

各ユニットに配られている布や新聞紙。文殊地区日赤奉仕団の方々が月に1度切断などの作業をしてくださっています。

平成3年から平成20年までの17年間、文殊地区分団長をされていた寺尾文子様にお話を伺いました。

日赤奉仕団の活動は、施設奉仕をはじめ、皇居奉仕、赤い羽根共同募金街頭運動や防災訓練への参加、社資(世界で起こった災害時に使われています)募集など活動の範囲は幅広い。

奉仕活動を通し、たくさんの方と出会い、話せるのが楽しみだそうです。“できる範囲”での活動で助け合いの輪を広げていく……。

私たちも心のこもった活動に「感謝」の気持ちを忘れてはいけませんね。



行事予定

- | | |
|----|----------------------|
| 3月 | ・ ひな祭
・ 開設3周年記念行事 |
| 4月 | ・ 花まつり
・ 花見外出 |
| 5月 | ・ 西山公園 つつじ見物 |

ボランティアの皆様ありがとうございました

- ・ 教應寺 住職 奥田順誓 (法話)
- ・ 杉本繁一 (おつとめ)
- ・ 清水吉勝 (しんそう鯖江)
- ・ 文殊地区日赤奉仕団 (布切り)
- ・ 高橋 道子 (書道)

(敬称略)

編集後記

今年もやってきた花粉症の季節。学生時代のある恩師は、極度の花粉症という事で、専用の眼鏡を作って対策していました。なんとか予防して暖かい春を満喫したいものです。

U.M